

現代社会学部公開講座

女性が生きやすい社会とは何か ～日米の比較から～

「日本人女性としてアメリカに生きる —留学生、主婦、ジャーナリスト」

著書に『戦争花嫁』(共著、芙蓉書房出版、2002年)、『アメリカの女　日本の女』(北國新聞社、2000年)、『日系ジャーナリスト物語』(信山社出版、1997年)などがある在米25年のノンフィクション作家林かおり氏は、「第1部　私が見たアメリカ女性の社会進出」として、「内助の功」という言葉に相当する表現が英語にないことや、ジャーナリズムの世界を中心に女性がどのような役割を果たしてきたか、その現状報告がなされ、アメリカ式に講演の途中でもフロアからの質疑に応答され、100人を超える聴衆は熱心に聞き入った。

休憩をとった後、近著である『戦争花嫁』について取材をうけている林氏のビデオを富山のチューリップテレビに許可を頂き、上映した。第2部は「戦争花嫁と国際結婚」として、その歴史や「戦争花嫁」の取材の難しさなどが語られた。

なお、この公開講座についての記事が、翌日の『京都新聞』(2003年4月20日)に掲載された。

公開講座プログラム

開催日時 2003年4月19日(土) 14:00~16:30

ご挨拶 初瀬龍平(京都女子大学現代社会学部長)

講演 林かおり(在米 ノンフィクション作家)

「日本人女性としてアメリカに生きる—留学生、主婦、ジャーナリスト」

司会 嘉納もも(京都女子大学 講師)

コメンテーター 嘉本伊都子(京都女子大学 講師)

質疑と応答

林かおり氏ホームページ www.katiebooks.com